



後期基本計画への意見反映を確認

第1回から第3回までの「市民まちづくり会議」で検討してきた内容が後期基本計画(素案)にどのように反映されているか、2日間にわたり確認・共有・補足の意見交換を行いました。

また、計画推進に向けた市民・事業者・行政の役割分担についても同様に意見交換を行い、さらに後期基本計画をはじめ市政の市民への周知・協働を図る方法についても検討しました。

計画素案に対する検討結果は裏面のとおりです。なお、周知等を図る方法についての検討結果は、次号(最終号)でお知らせします。

■検討のみちすじ

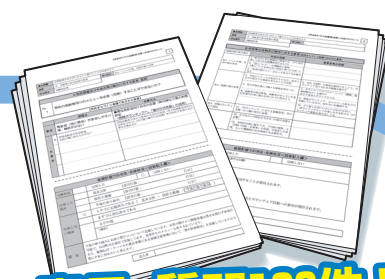
重点課題等について検討
(第1回～第3回)



市民まちづくり会議

確認・共有・補足、
市民への周知策の検討
(第4回・第5回)

検討結果を担当課に投げかけ



投げかけシート

後期基本計画
策定シートの完成



後期基本計画
策定シート



担当課

後期基本計画
素案に反映

まちづくり会議全体のながれ

前半
後半

第1回(9月)

新市誕生から5年間のまちづくりをふりかえって

第2・3回(10月)

重点課題を改善する方法について

第4・5回(12月)

後期基本計画への意見反映について



第4回 会議の様子



第5回 会議の様子

第4回 会議のながれ

日時:平成23年12月16日(金)13:30～15:30

場所:五泉市福社会館3階大会議室

13:30 開会挨拶

13:35 前回のふりかえり

各課への「投げかけシート」結果の報告

及び後期基本計画の策定状況について(説明)

13:50 意見交換

～後期基本計画への意見反映状況の確認・共有・補足～

15:30 まとめ、閉会

第5回 会議のながれ

日時:平成23年12月20日(火)13:30～15:30

場所:五泉市福社会館3階大会議室

13:30 開会挨拶・市長挨拶

13:35 前回のふりかえり・本日の議題について(説明)

13:50 意見交換

①意見反映状況の確認・共有・補足(前回続き)

②市民に市政への関心を持ってもらうための
手立てについて

③計画の進行管理・評価方法などについて

15:30 まとめ、全5回を通じたふりかえり、閉会

後期基本計画への意見反映に関する補足・質問・回答

重点課題	補足意見・質問・回答の要約	重点課題	補足意見・質問・回答の要約
高齢者対策	高齢者の交流や社会参加、男女共同参画の一環として、アンケートを行い、気軽に参加できる講座などを企画する。 「老人クラブ」の名称を変更。キャッチフレーズやニックネーム、愛称などでやわらかいイメージにする。 高齢者の施設利用に関して、メニューや料金、申込み方法等を分かりやすくPRすべき。	医療・福祉対策	産科医を招くにあたり、少子化対策としても具体的な計画を提示すべき。せめて他地域からの出前診療ができないか。 弱者の医療対策の明確な方向性を提示すべき。 休日の健康診断受診体制は？ 今後は市内全域に周知してほしい。 ↑【回答】今年度10月に日曜健診を3日間行った。(市より)
労働環境対策	障がい者の雇用対策や保護者の積極的な働きかけを促進する支援策などが必要。	積雪対策	地域に貸与されている除雪機械はどのようなものか？ ↑【回答】歩行用ロータリー式を貸与している。(市より)
公共交通対策	市民によるふれあいバス体験乗車など、幅広くPRすべき。 ふれあいバスのコースを変更すべき。 乗合タクシーは線路を境に東と西のエリアに分かれていてわかりにくい。 ↑【回答】公共交通として運行している以上、できることとできないことがある。乗合タクシーは郊外とまちなかを30分で結ぶ利便性を重視している。(市より)	その他	市の地球温暖化対策の取組である「エコアクション21」は市役所職員だけが行うものか？ ↑【回答】市が率先して行うということである。(市より) 市町合併によって施設や組織を合理化だけでなく、より深みのある新しいイメージに高めるべき。農商工の連携策として、交流・話し合いの場づくり(複合施設等)が必要。 ホームページが見やすくなった。子育て関連では双方向の情報交換ができると良い。 自殺予防については人権の観点から、こども課でなく高齢福祉課や健康福祉課、企画政策課の分野ではないか？ ↑【回答】自殺・うつ対策は健康福祉課で対応している。(市より) 災害時の連絡方法の1つとして、アマチュア無線を利用できるのではないか？ 合併特例債の用途は？ 合併後の目に見える形でのまちづくりなどに活かされるべきではないか。 ↑【回答】これまで小学校関連や道路整備等で利用してきた。(市より) ソフト面(ニット、産科、高齢者対策など)について、各課を越えた市独自の具体的な支援策が必要。
商工業対策	起業支援の確立 ・空き店舗対策として市独自の起業支援策が必要。 ・市は、物件の提示や取り組みのPRをすべき。 商工会青年部の活動支援(特に後継者の育成)の強化。		
農業対策	森林の整備・活用・管理に関する行政支援の強化。 ・「帛乙女」の名称使用が厳しいのでブランド制限を緩和できないか。 ・里芋と栗は有名でも生産量が少ないのでPRしにくい。 ↑【補足】「帛乙女」として出荷できるのは、品質と形状管理が徹底した園芸連組織の加入者のみ。 ・愛媛や埼玉が競合県だが、新潟では雪がネックで、取組体制やPRも弱い。 ・里芋焼酎など新たなブランド形成を図っている。 ・農家と行政が一体となったブランド化はPRに値する。 (農業生産者より)		

「市民等の役割及び期待に対する意見」に対する補足・質問・回答

重点課題	補足意見・質問・回答の要約
高齢者対策 (活躍の場の充実)	学校行事の会場準備をシルバー人材センターの会員の方々に大変良くしてもらった。学校の庭の冬囲いも素晴らしい。高齢者の匠の技を活用すべき。 高齢者の人材活用と活躍の場を広げるため、シルバー人材センターの年齢制限を緩和してはどうか。 ボタン園の交通整理は市職員が行っているが、シルバー人材センターの会員を活用できないか？ ↑【回答】市職員が行うことで、市のイベントとしてのPRや経費の削減も兼ねている。(市より)

話し合いの結果から

市民まちづくり会議での熱心な討議を経て、深みのある後期基本計画が完成しようとしています。今後は当計画をもとに、五泉ならではのまちづくりが期待されます。

今後について

今回の討議内容を踏まえて再度、計画素案の見直しを行った後、1月から開催される総合計画審議会等を経て、3月に後期総合計画として完成する見通しです。